

軽自動車税種別割廃車申告書兼標識返納書【記入例】

軽自動車税種別割廃車申告書兼標識返納書
(原動機付自転車・小型特殊自動車)

令和 年 月 日
練馬区長 殿
つぎのとおり申告および標識の返納をします。

申告の理由		種 別	
廃 車		原動機付自転車	小型特殊自動車
☐ 廃棄 ☐ 譲渡 ☐ 転出 ☐ 盗難・紛失 ☐ その他 ()		☐ 第一種 一般原付(総排気量50cc以下または定格出力0.6kW以下) ☐ 第一種 一般原付(総排気量125cc以下かつ最高出力4.0kW以下) ☐ 第一種 特定原付(定格出力0.6kW以下) ☐ 第二種 乙(総排気量90cc以下または定格出力0.8kW以下) ☐ 第二種 甲(総排気量125cc以下または定格出力1.0kW以下) ☐ ミニカー	☐ 農耕作業用 ☐ その他 ()
		標 識 番 号	K 1234
		廃 車 年 月 日	令和 年 月 日

該当する項目に✓してください。

納 税 者 (申 告 義 務 者)	所 有 者	現住所 または 所在地	練馬区豊玉北6-12-1		主たる定置場	1 主記所有者の住所又は所在地と同じ				
		(フリガナ)	ネリマタロウ			2				
		氏 名 または 名 称	練馬太郎							
	生年月日	昭・平 1 年 12 月 12 日	電話番号	03-3993-1111		車 台 番 号	型式及び年式		原動機の型式番号	
	A F 2 0 - 1 2 3 4 5 6		1 2 3 4 5		A-AF20 型 2022 年式		AF20E			
	生年月日	昭・平 年 月 日	電話番号			長 さ	幅	最高速度	最高出力	
	現住所 または 所在地	所有者と使用者が異なる場合は、使用者欄に、記入して下さい。		原動機付自転車(特定原付)の場合は、長さ・幅・最高速度も記入して下さい。		km/h		kW		
	(フリガナ)			標識返納の有無		標識返納がない場合、その理由				
	氏 名 または 名 称			1 有 2 無		イ 盗難 ロ 紛失 具体的に:		第一種一般原付(総排気量125cc以下かつ最高出力4.0kW以下)の場合は、記入してください。		
	生年月日	昭・平 年 月 日	電話番号			盗難届出	届出年月日	年 月 日	被害年月日	年 月 日
届 出 者	住 所 または 所在地			届出警察署	警察署		交番・駐在所			
	(フリガナ)	納税義務者と窓口に来られている方が異なる場合に、記入して下さい。		受理番号						
	氏 名 または 名 称			※届出者が代理人の場合は、委任状が必要です。 (代理人が、「販売店業者」または「現在練馬区内に居住している方で、所有者と住民票上同一世帯の親族の場合」は不要です。)						
	電話番号			本人確認	☐ 販売店業者 ☐ 運転免許証 ☐ 古物商 ☐ パスポート ☐ 同一世帯 ☐ 個人番号カード ☐ 委任状 ☐ 健康保険証 ☐ その他()		受付			
☐ 窓口受付 ☐ 郵送受付 ☐ オンライン ☐ 課税物件異動通知受理				盗難の種類	☐ 標識 ☐ 車両	標識弁償金	() 円	受 付 印		
<備考欄>				料 金	決 済 日	入 力				
				職 員 確 認	支 払 内 容	発 行	発 送	確 認		

軽自動車税種別割廃車申告書兼標識返納書 記載要領

- 1 この申告書は、原動機付自転車又は小型特殊自動車1台ごとに作成すること。
- 2 「申告の理由」及び「種別」の各欄には、該当箇所の□（チェック欄）にレを記入すること。
なお、「種別」の欄については、該当箇所の□（チェック欄）のいずれか1つのみにレを記入すること。
- 3 「廃車年月日」の欄には、納税義務が消滅した年月日を記入すること。
- 4 「納税（申告）義務者」の欄の「住所又は所在地」には、都道府県、市町村名、番地まで記入すること。
また、納税義務者等がビル等に入居している場合又は同居人である場合には、ビル等の名称のほかに棟号数、室番号又は〇〇様方のように、郵便物が確実に届くように記入すること。
- 5 「納税（申告）義務者」の欄には、所有者と使用者が同じである場合は、所有者欄のみを記入すること。
- 6 「届出者」の欄には、申告に来た者が納税義務者以外の者である場合に記入すること。
- 7 「主たる定置場」の欄には、申告の際の主たる定置場が所有者の住所又は所在地と同じである場合については1を○で囲み、それ以外の場合については2の欄にその住所又は所在地を具体的に記入すること。
- 8 「長さ」、「幅」及び「最高速度」の欄は、特定原付の申告時のみ記入すること。
- 9 「最高出力」の欄は、総排気量0.125L以下かつ最高出力4.0kW以下の一般原付の申告時のみ記入すること。
- 10 「標識返納の有無」の欄には、標識の返納が有る場合には1を、また、標識の返納のない場合には2を○で囲むこと。
なお、標識の返納のない場合については、その理由に該当する項目を○で囲み、具体的な理由を〔 〕内に記入すること。
- 11 「盗難届出」の欄には、「申告の理由」又は「標識返納がない場合、その理由」欄において「盗難」に該当する場合に、その盗難を届出た年月日、被害年月日、届出警察署及び受理番号を記入すること。